

# [ デザインコース ]

将来の主な仕事：広告（CM、ポスター、新聞・雑誌・WEB広告、フライヤーなど）、C.I.（企業やショップをトータルにデザイン）、ブック・エディトリアル（本の装丁や編集）、サイン（標識、案内、指示、地図など）、パッケージ（商品の包装パッケージ、CDジャケットなど）、小型グラフィック（カレンダー、POP、販促物など）、イラストレーション、絵本、ゲーム、キャラクターデザイン、写真、WEB、映像（ミュージックビデオ、TV番組の企画・映像、映画）、乗り物（車、バイク、飛行機など）、家電・機器（電化製品、デジタル家電、OA機械など）、インテリア（家具、照明）、テキスタイル（染織、織物）、ファッション（服飾、装飾品）、クラフト（ジュエリー、家具、食器など）、雑貨（日常生活用品）、文房具、玩具（ゲーム、おもちゃなど）、バス・トイレタリー用品（住宅などの水回り空間や器具など）、医療器具・機器、スポーツ用品、テーブルウェア（食卓用器具）、ランドスケープ（都市空間、造園空間）、建造物、室内計画（住空間、商業空間）、舞台美術（演劇、TV番組・映画セットなど）、ディスプレイ（展示、陳列）、アート、教職など

## ものづくりを学ぶうえで、芸大はこれ以上ない環境です。

加藤 あずささん

東京芸術大学 デザイン科3年  
2014 -2017年度 デザイン・工芸本科  
半田高校出身



大  
学  
生  
活  
紹  
介

私は東京芸術大学でデザインを専攻しています。めざした理由はたくさんあった気がしますが、今思うと日本で一番の芸術大学に入りたい、なんだか楽しそう、という気持ちが大きかったのかもしれない。

芸大のデザイン科はグラフィックやプロダクト、空間デザインなどといった領域分けがなく、課題への答え方も自由です。みんなとにかく考え、自分なりの答えを模索しながら制作に励んでいます。アトリエでは家具をつくっている人もいれば、絵本づくりや、パソコンでグラフィックやアニメーション、映像をつくる学生もいます。教授からも一人ひとりの作品をより良くしていくためのアドバイスをいただき、多様な考え・作品に触れ、日々刺激を受けています。

ものづくりを学ぶうえで、芸大はこれ以上ない環境です。

また一つの課題の期間が長いので、課題と並行して自主制作をしたり大学内外のプロジェクトにも参加する学生も多いです。自由であるからこそ、自分の「やってみたい」ことが実現できる場所だと思います。

河合塾での受験生活の中では、うまくいった日もあればなかなか思うようにいかないこともたくさんありました。失敗の方が多かった気もします。でも、それでよかったのだと思います。悩んで苦しんだ経験は自分の糧となり、作品づくりの役に立っています。これからも悩んで考えて手を動かしながら、残りの大学生活を楽しみたいと思います。



1



2



3



4

1. ペルソナという課題で制作した、従姉妹のための人生の地図
2. 「Coronial existence」泡を用いた映像作品
3. coopと藝大との共同プロジェクトでデザインしたストックバッグ
4. 「sea-saw」海の音を感じるベンチ

## 受験でつけたデッサン力が今後大きな財産になる。

泉 亜加理さん

株式会社モリサワ  
タイプデザイナー

愛知県立芸術大学 デザイン専攻卒業  
2012年度 基礎高1・2年専科/2013年度 デザイン・工芸平日専科/  
2014年度 デザイン・工芸本科  
愛知高校出身



O  
B  
・  
O  
G  
か  
ら  
の  
メ  
ッ  
セ  
ー  
ジ

私はフォントをデザインする仕事をしています。フォントは世に出るまでに数年かかることが多く、私の担当したフォントはまだ発売前ですが、その中の約2000字程度の漢字を制作しました。自分の携わったフォントを見ると嬉しいという話を先輩方に聞くので、発売されるのが楽しみです。今も、将来リリース予定の書体に取り組んでいます。

タイプデザイナーになったきっかけは、在学中に有志で開いた展覧会で文字をつくったことです。その後、フォントをつくる授業で改めて文字をつくる仕事がしたいと思うようになりました。

現在芸大・美大をめざしていて、受験のための絵って将来役に立

つのかなとか、特殊環境でうまくやっつけられるかなど、いろいろ不安はあると思います。私もそうでしたが、今の仕事でも受験で培ったデッサン力はしっかり生きています。

大学ではグラフィックやプロダクトなどさまざまなデザインを一通り経験することができました。その過程で将来どんな仕事がしたいか決まることも少なくないですし、大学でできた友人とは今も頻りに連絡をとっています。

受験のために頑張った気持ちは今後も糧になります。同じ目標を持つ友人と、切磋琢磨しつつ楽しんでください！



1



2



3

1. 自主制作フォント「Branch」
2. 開発中書体「TBオス」デコラティブなデザインが特徴
3. 開発中書体「TBオス」制作画面

# [ 工芸コース ]

将来の主な仕事：陶芸家、ジュエリー作家、染織作家、漆芸作家、クラフト作家、造形作家、金属造形作家、七宝作家、鍍金家、造幣局員、プロダクトデザイナー、テキスタイルデザイナー、ジュエリーデザイナー、グラフィックデザイナー、クラフトデザイナー、インテリアデザイナー、七宝デザイナー、大学教授、文化財保存修復の研究者、デザイン事務所経営、ジュエリー会社経営、デザイン・印刷会社勤務、陶芸教室主宰、彫金教室主宰、鍍金教室主宰、教育研究機関の指導者など

## やりたいことを探して、見つけて、とことん極める。

### 木村 達哉さん

愛知県立芸術大学 陶磁専攻3年  
2016年度 デザイン・工芸平日専科 / 2017年度 デザイン・工芸本科  
松蔭高校出身



#### 大 学 生 活 紹 介

現在、愛知県立芸術大学デザイン・工芸科陶磁専攻で日々制作をしています。

僕は河合塾での立体課題で粘土に興味を持ち、陶芸を学ぶことができる大学に進むことを決めました。河合塾の浪人時に本気でやりたいことを見つけることができました。

これはとても幸運なことでした。

今では土にこだわり、焼き物や土の油絵など掘った土をベースに制作しています。

河合塾でのあの時間がなければ今の自分はなかったと思います。辛い時期かもしれませんが、やりたいことをしっかり見つける時期として捉えてみると大学に入ってからとても充実した日々が過ぎると思います。

僕はうまくつくれないときもありましたが本番までずっと楽しく制作していました。つくることや考えることを楽しめれば、きっといい結果が待っています！前に進むのみです！



1



2



3

1. 白黒の器
2. うずら徳利
3. 原土ボトル

## ひたむきに頑張れば道は必ず開けます。

### 鷺見 茜さん 陶芸作家

東京芸術大学 工芸科陶芸専攻卒業  
2011-2012年度 基礎高1・2年専科 / 2013年度 デザイン・工芸日曜専科 /  
2014-2015年度 デザイン・工芸本科  
南山国際高校出身



#### O B ・ O G か ら の メ ッ セ ー ジ

東京芸術大学陶芸専攻卒業後、愛知県瀬戸市に工房を借りて制作を続けています。

卒業後考えていた留学はコロナの影響により見通しが立たなくなりましたが、運よく、また大変ありがたいことが重なり、周りの人に支えられてなんとか制作を続けられています。世の中が落ち着いて、自分にもいろいろと余裕ができたなら留学や展示など、もっと活動の幅を広げていきたいと思っています。

そんな中、不思議なことに今現在の方が大学にいる頃よりも予備校時代のことをよく思い出します。大学では同級生や研究室のみならず共同作業の中制作をしていた感じですが、卒業後ひとり制作に

打ち込むことは受験勉強と似ている部分が多かったです。

私にとって予備校時代は自分自身と向き合う期間でした。制作に打ち込むことももちろんですが、自分が感動したことや表現したいものが何なのか気づき、それを少しでも作品に写せたときはとても楽しい瞬間でした。その体験がこの道の始まりだったのかもしれない。

辛いことや不安も多い道ですが、少し馬鹿になって、ひたむきに頑張っていると道は必ず開けるし、そうしてたどり着いた先はどこであろうといい未来に行き着くと思います。自分と自分を応援してくれている人を信じて頑張ってください。



1



2

1. 「フグスリバコ」
2. 「平皿 雨のちうなぎ」